学校番号	４０７

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年齢とともに変化していく心と体について関心をもとう。
・思春期の君たちがはやまった行動をとらないために必要な知識を学習しよう
・医療のしくみやそれらの活用のしかたを学習しよう。

2　学習の到達目標

・思春期の心身の変化を客観的に理解し、自らの行動を正確な情報をもって判断できるようになる。
・幸せな家庭を築いていくための計画をたて、そのために心がける生活習慣や行動を実践する。
・加齢とともに変化していく心身と社会的立場について興味をもって学習する
・私たちをとりまく環境に関心を持ち、健康に過ごしていくための社会的責任について考える。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	思春期から中高年期まで抱える健康問題や対策を理解し、よりよい将来を築いていくことが重要であることに関心をもち、個人生活及び社会生活における加齢の問題について意欲的に学習に取り組もうとする。	思春期特有の悩みや問題、またそれの解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	思春期から中高年期までに抱える健康問題や特有の悩みについて理解し、解決のための正確な知識に基づいた行動を考える。また早まった行動をとらないためには正確情報とそうでないものを見極めなければいけない。
評価方法	プリント ワークノート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークノート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	オリエンテーション ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康	○	○	○	a:思春期における体と心が直面する問題や性意識に関する男女間での差などを理解する。また自身の結婚観などをワークシートにまとめる。 b:思春期における早まった行動はなぜ起こるのかを分析し、自身のこととしてとらえ、正しい行動を判断し、選択できるように学習する。 c:思春期に関する諸問題の用語を説明できる。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		・家族計画と人口妊娠中絶 ・加齢と健康 ・高齢者のための社会的取組み	○	○	○	a:自身の将来にワークシートにまとめ家族計画を立ててみる。加齢に伴う心身の変化について意欲的に学習し、それらから将来、健康でいられるためにとるべき行動の意見を述べることができる。 b:健やかで楽しい家族計画を立て、実行するために大切なことを考える。急速に進む高齢社会に社会の取組も発展するがその背景で起こっている様々な問題を解決するための施策を考える。 C人口妊娠中絶について正しい知識をもち意見を言ったり書いたりできる。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査

2学期		・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品と健康 ・さまざまな保健活動や対策	○	○	○	a:便利な保健制度のしくみと使い方を学び、そのサービスを受けるための準備について積極的に発言する。医薬品に関する正しい知識をもち適正なサービスを受けられるように主体的に学ぶ。 b: 保健行政のしくみや医療サービスの活用は健やかな人生を送るうえで欠かせないことであることを認識し、どの場面でどのような活用方法があるのかを学ぶ。 c: 保健行政サービスの種類や医薬品の種類を書いたり言ったりできる。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策	○	○	○	a:我々は取り巻く環境により健康被害を受けることを理解。特に水や大気、土壌は欠かせないものであるので健康を脅かされないように、歴史的公害を学び、とるべき行動をまとめる。 b:健康は環境に大きく左右さるので正確な知識から正しい判断ができるようになる。 c: 公害を歴史的にまとめ意見を発表する。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
3学期		・環境衛生活動のしくみとはたらき ・食品衛生活動のしくみとはたらき ・食品と環境の保健と私たち ・働くことと健康	○	○	○	a:衛生的で快適な生活が整備され、それを維持するために個人でできることを考え、発表できる。生活を支える食品の安全性はどのように守られているかを学習する。 b:環境や食品の安全性が脅かされた際、私たちがとるべき行動を考える。 c:環境を整備するシステムや、食品加工の行程について理解し、名称や用語を書ける。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。